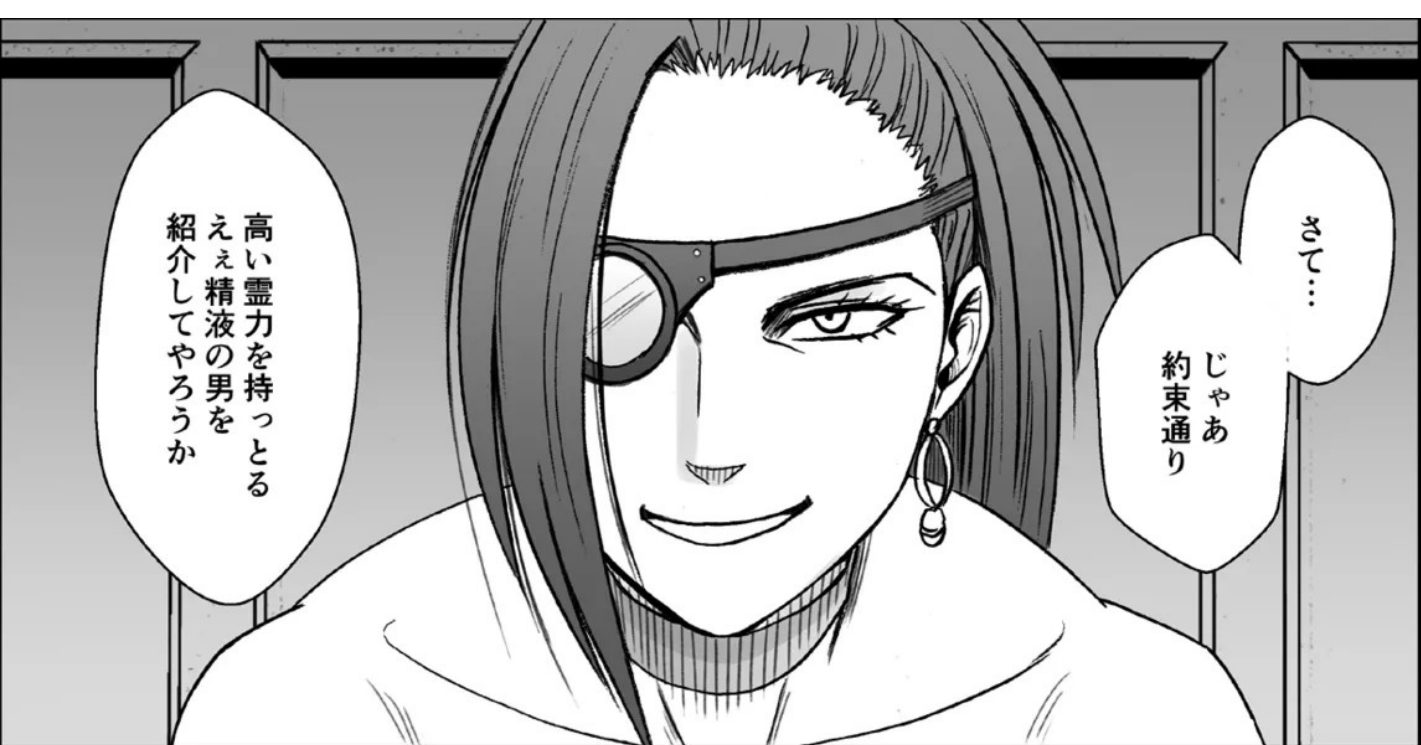




退魔士カゲヤ極8

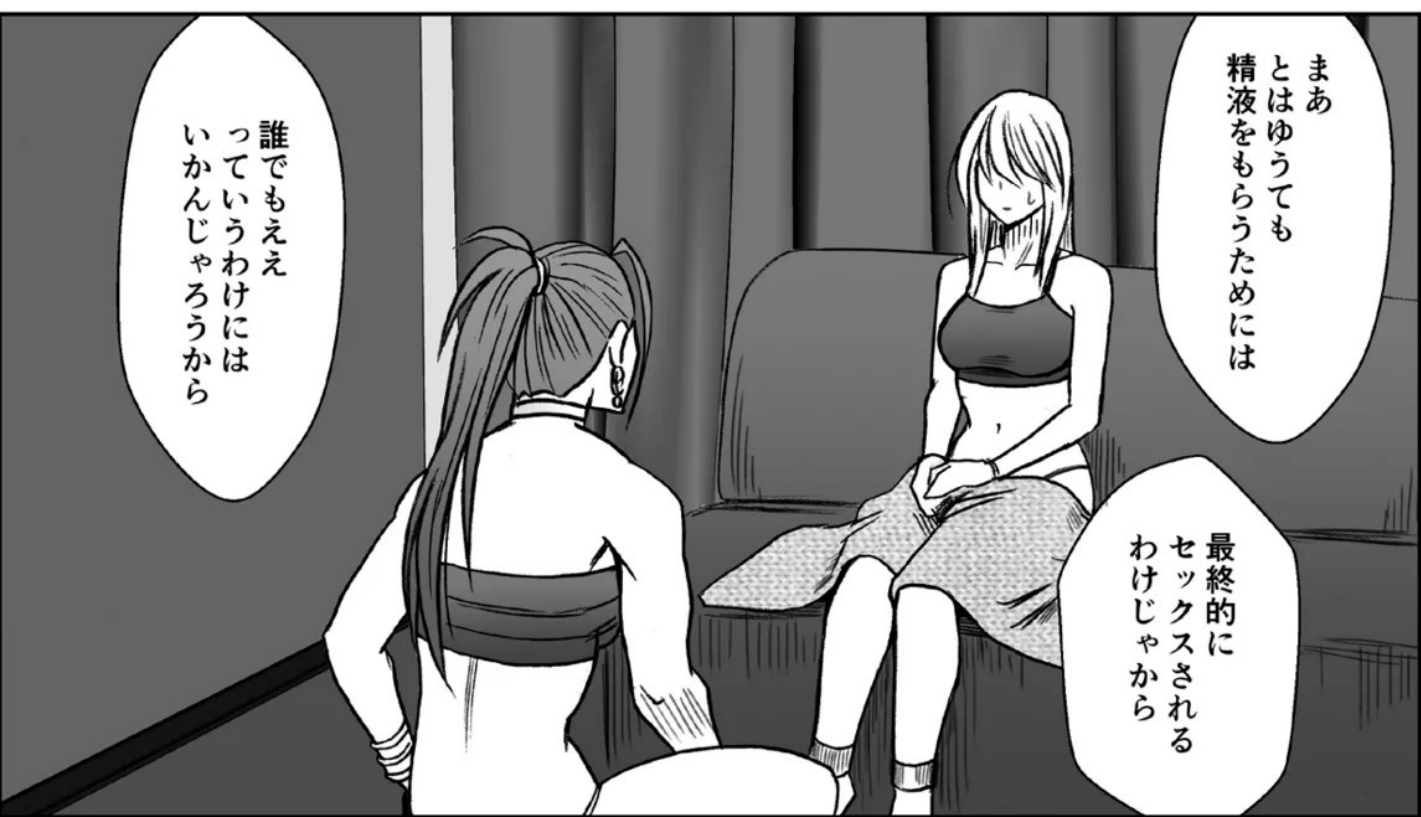
ルートB 正義のヒロイン公開陥落編



さて…

じゃあ
約束通り

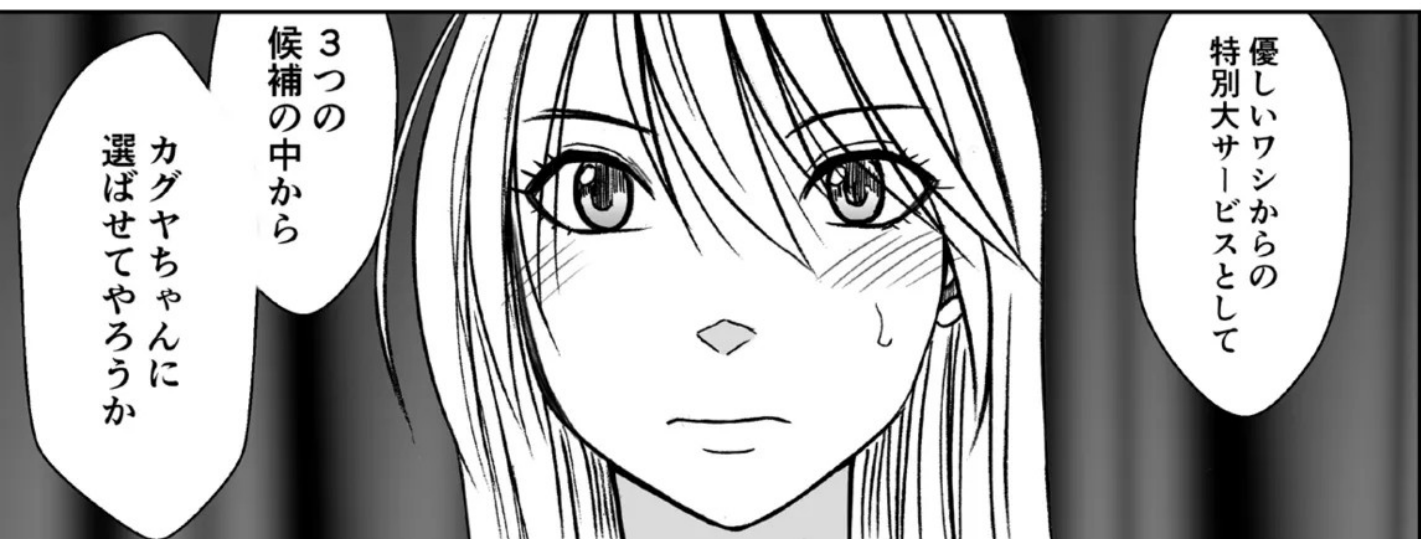
高い霊力を持つとる
ええ精液の男を
紹介してやろうか



まあ
とはゆうても
精液をもらうためには

最終的に
セックスされる
わけじゃから

誰でもええ
っていうわけには
いかんじゃろうから



優しいワシからの
特別大サービスとして

3つの
候補の中から

カグヤちゃんに
選ばせてやろうか



選択肢その1

退魔士協会
最強の霊力をもつ
ジジイ

まあ
これは
とくに説明は
いらんか

こいつはとにかく
純粹に強いから

精液をもらえれば
まあ
間違いなく
霊力は復活
するじゃろ

問題は
この男が性欲が
強すぎるクズだって
ことくらいかの？



選択肢その2

退魔士じゃない
ただの一般人だけど
隠れた
霊力の高い男

こいつは
退魔士じゃないし
霊術とかは
全然つかえんけど
生まれ持った
素質だけは
あるタイプじゃ

ただ
この男は社長で
忙しすぎて
カグヤちゃんが
好みじゃなかったら
相手にされんかもしれんな？

で：
選択肢その3
これはちよつと
特殊な方法じゃ

さつき
妖術でつくった
ペニスで犯されたと
思うが

あれを
今度は神聖な霊力で
つくりだして

そこから
精液を
生み出して
そそぎこむ方法

自分のカラダから
練り上げた精液であれば
効果は確実じゃ

ただし問題は
時間はかかりそうなこと
じゃな

さあ
どうする？

最強の
退魔士

霊力の高い
一般人

霊力精製ペニス

……
私は……

その……

さあ

どれを選ぶ？

カグヤ極

最終章

私が選んだのは
選択肢の②

霊力の高い
一般人

FLYME
away

どれも
恥ずかしいことには
変わりないんだけど

消去法的に
まだマシなもの
を選んだつもりだった

でも…

その紹介された
一般人の男というのが…

ガキ

まさか
愛しのカグヤちゃんが
自分から

私の精液を
欲しがって
やって来てくれるとは
思わなかったよ？

待っていたのは
虎道大慈

以前
私に特殊なプレイを
要求してきた
変態社長だった

うんぬん……
うんぬん……



**カグヤ極
最終章**

ルートB

**正義のヒロイン
公開陥落編**

フッフ
こうみえても
私は多忙からね

普通の女だったら
わざわざ
こんなふう
に時間を
使ったり
することは
ないんだが

まさか
紹介されるのが

よりによって
この男だったなんて…

カグヤちゃんは
特別だよ

カグヤちゃんは
私におって
理想のスーパー
ヒロインだからねえ

知ってれば
この選択肢は
選ばなかったのに…!





乳首は
相変わらず
敏感だね

むしろ以前よりも
さらに敏感に
なってるかな？

もう
ここまで来たら

びんびん

びんびん

アハハ

我慢するしかない！

アハハ



この男のことを
受け入れるしかない！

この一晩だけ……！

びんびん



今だけ……！

霊力が戻るのなら……！

びんびん



我慢……!

我慢したいけど……

ああ……!
ダメ……!

この男には
以前たぐさん
弄ばれて……

最後に私に
やられてから
どのくらい男に
弄ばれたのかな?

全部正直に
言いなさい
グフフフ



カラダが勝手に
思い出して……!



全部……!

カラダの隅々まで
知られてるから……!

イヤなのだ……!



あの時の快感が
蘇ってきて…!!

止められない!!

お…お願いします!
もう
許してください!

早く中に
出してください!



ああ…カラダが…!!

思い出したくないので
思えば…

グフフ
ダメだよ
ダメだよ

せっかく
カグヤちゃんが
自分から私のところに
来てくれたんだ

いわばこれはもう
完全合意セックス



（じいちゃんも私……！）

またあの時みたいだ

たっぷり
じっくり
楽しまないと

カグヤちゃんの
カラダがあれから
どうなったのか

全部
調べつくしてから
中出ししようね

おれ
おれ
おれ
おれ
おれ

数えきれないくらいイカされる！

そして
そこから私は

長時間
カラダ中の性感帯を
チェックされ

すべての性感帯で
絶頂に達することを
確認されて…

以前なら
何ともなかったような
箇所でも
ウソみたい
気持ち良くなって



数々の
妖魔や人間たちに
弄ばれてきた
私のカラダはもう

情けないくらいに
弱点だらけに
なっていることを

イヤというほど
思い知らされて

アッ

ウッ



いろんな場所を
いろんな方法で
責められる

それでも
アソコの中だけは
刺激してこなくて

それが
もどかしくて…



カラダ中の
ありとあらゆる箇所
イカされたけど

唯一
刺激されずに
放置され続けた
アソコの中が
疼きすぎて

我慢できなく
なってきた…

いつまで
焦らすの!?

もう…!

もう…!

もう無理!



さあ 愛しの
カグヤちゃん

とびきりの快感を
受け入れるー

グッ

ブルッ

.....!!

心の準備は
いいかな？



ガマンできない！



もう分からない！

分からない！



ああ……

イヤ……

イヤ……

イヤなの……？



欲しい……!!

アッ

アッ

ムム

ムム



ああ！

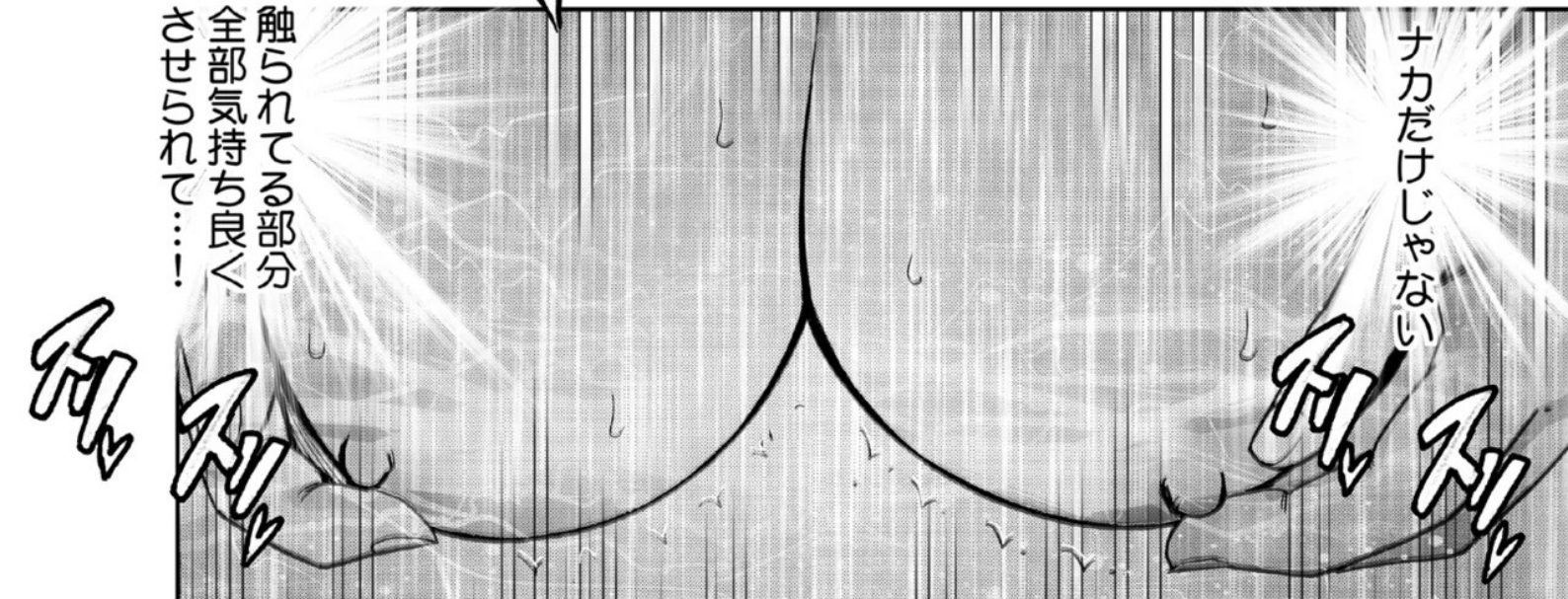
これ……！

気持ち良すぎ……！

カラガが
おかしくなってる……！

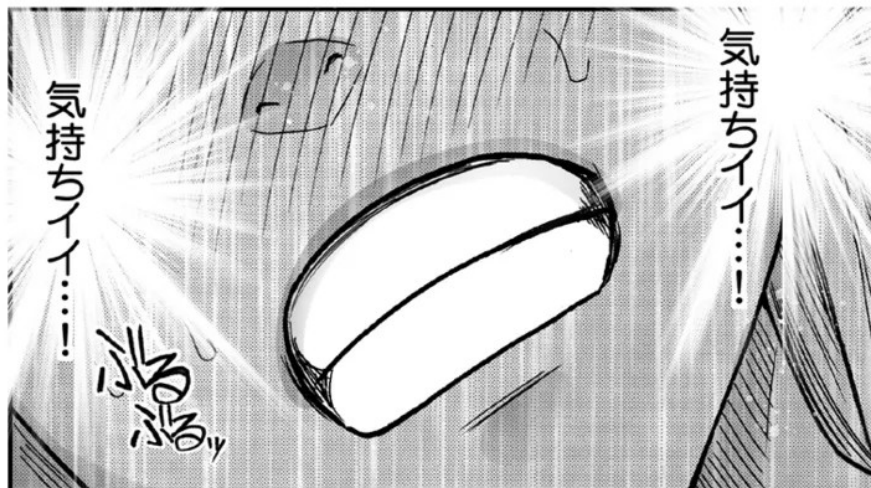
イクッ！

ナカでイク……！



ナカだけじゃない

触られてる部分
全部気持ち良
くさせられて……！



全部
気持ちいいことを

受け入れるしかない！



この男は
精力絶倫で

長時間されることは
覚悟してたけど

本当に終わらなくて

挿入されたまま
3時間イカされ続けて…





ああ……!

イク……!

はやく
ナカに……!

アッ
アッ

アッ
アッ



フフフ
カグヤちゃん
ずいぶんと
スケベになってきたねえ

ダメだよ
そんなにスケベに
なったら

カグヤちゃんは
スーパーヒロイン
なんだからね

スーパーヒロインは
清く正しく
気高い存在でないと
グフフフ

あとで
しっかりそれを
思い出して
もらうからね



とりあえず
一発目を

中に……!



射精された瞬間に

あまりの気持ち良さで
情けない声を
出しながら
意識を飛ばされて

たしかに
この男に秘められた
霊力は高かった
みたいで

中を精液で
満たされると同時に
不思議な安堵感で
満たされて：

完全完璧な
シチュエーションで

理想のセックスプレイを
愉しませてもらおうか
ウハハハ

これからだよ
カグヤちゃん

新しい協力者も
いることだし

フッフ

挿
挿
挿

**カグヤ極
最終章**

ルートB

後編

私が目を
覚ました時

そして…

何がどうなっているのか
まったく分からない
状況で…

…
!?





え？

アツシ

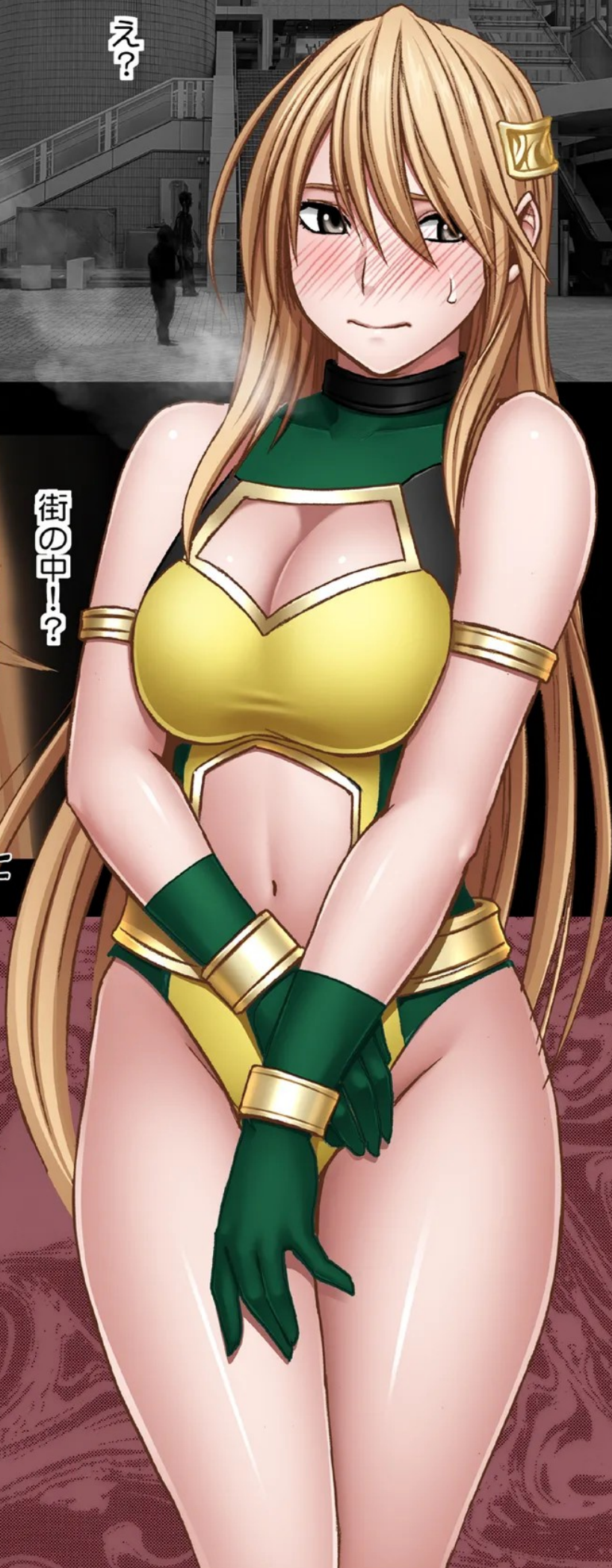


それにこの服は……！？

街の中……？

私は虎道の
屋敷にいたはず……！

ドキドキ



なんとなく
虎道の趣味で
こうなっているの
であらうことは
予想できる

それでも
はつきりとした
確証はなくて…
ただ戸惑うだけで…



現状を把握する
間もなく

突然の轟音が
街中に響き渡る



現れたのは

大型の妖魔

フウウウウウウウウウ

どうして
こんな大型の妖魔が
街の中に……!?

まったく
状況が読めないけど

霊力も
すこしは回復してらるじ

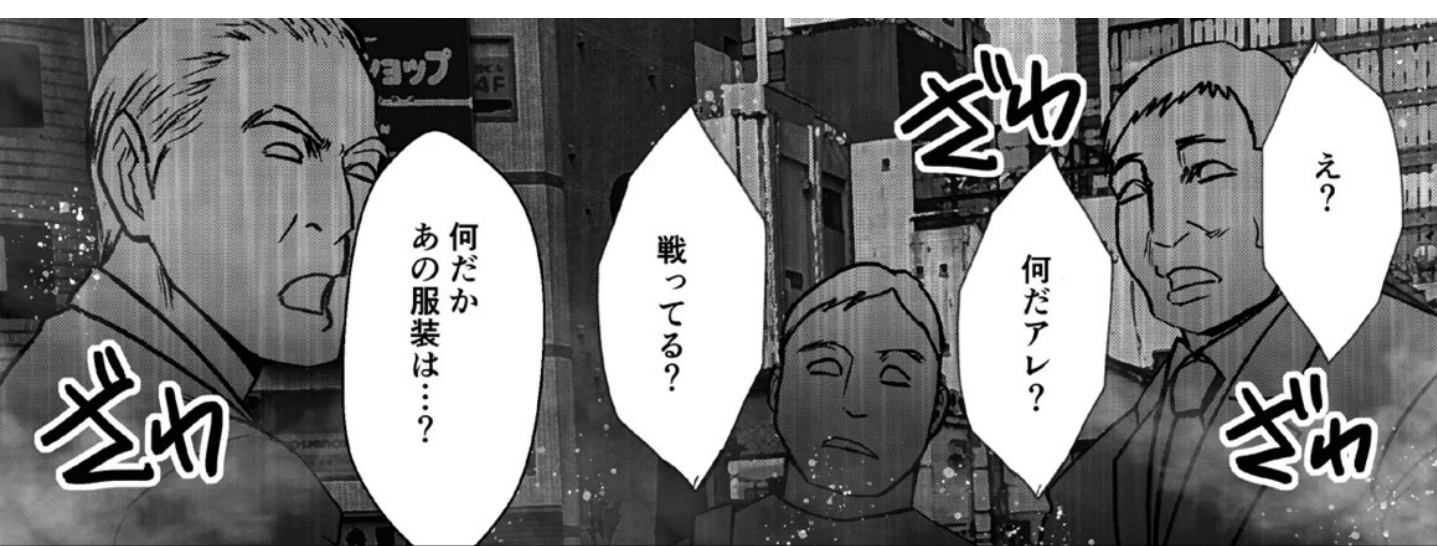


戦える!

ここで私が

みんなを
助けないと……!





何だか
あの服装は…?

戦ってる？

何だアレ？

え？



そして
現時点で
出せる全力を
使い果たして

なんとか
討伐に成功した



おおおおお!

アッアッアッ



広がる安堵

何なの?
あの女の子?

何か
戦隊モノの
ヒロインっぽくない?

まさか本物の
ヒロイン?

ざわ
ざわ



何だかみんなの
視線が私に
集中してきて

急に恥ずかしく
なってきた
急いでその場を
立ち去ろうとした

いいぞ!

オオオ
オオオ



そのとき



.....
!?



何...?

え...?



その場から
逃げられなくなって

突然

透明の結界壁に
閉じ込められて

ざわ ざわ...
シュ

ざわ
ざわ



透明の触手が
絡みついてきて

手足の動きを
封じられて：

ズン
ズン
ズン



もう抵抗できない!!



さっきの戦いで
力を使い果たして

くっ...



透明の壁に
囲まれて

逃げることもできない...

見られることを
拒否することも
できない!

これ...何なの?

え?何コレ?

ガラス?

この間...

ズル

ズル

ズル

ズル

ズル
ズル

ズル
ズル

ざわ

ざわ

やっ...!!
まずい!!

この状況は...!!

あの女の子
どうしたんだ?

さっきまでの
戦いで
みんなの視線が
私に集中してるから...!!

ざわ

ざわ

何が
おこってるの??

苦しんでる?

このままじゃ...!

また
大勢の前で
恥を...!!





どうしたんだ
あの子...?

苦しんでる??

いや...
むしろ...

何か
あれって...

え?
何...?

ダメ...!

見ろか！

見ろか！



ガマンしてるのを
諦めろか！



あは
この男に調教されて

一度諦めたカラダはもう

抵抗力が無さすぎて……



ああ…!

この触手も…
なす術もな…!…!

この触手の妖魔は
何が目的なの!?

分からない…!

気持ち悪い
も…何せ…!





あ

びく

ガマンしよう
思っても!

すぐに快感で
引き戻されて…!!



えっ?
何かエロ…

ざわ
ざわ

感じてない?

ざわ
ざわ



アハ

アハ



ああ…!

びく

見ないで…!

ああー！

イク！

イクッ！

もう
自分じゃ分らないくらい
乱される！



気持ちよさと

混乱とで

呆然とした状態になり

視界がぼやけてきた
そのとき

ボー...

突然
結界壁の中に

一人の男が

.....
!!

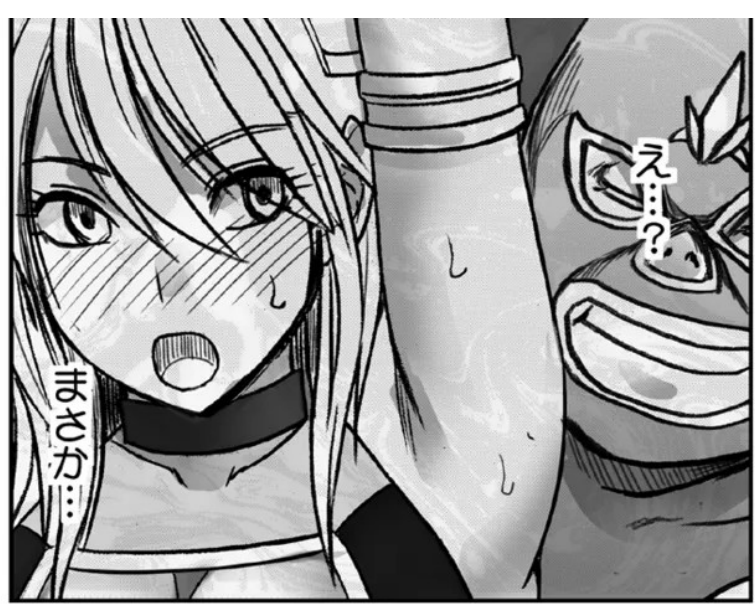
ドキッ

ズッ



グフフフ
このシチュエーション

楽しんで
くれたかな？



まさか…

え…？



ざわ ざわ

その声は

虎道…！？

グフフ
見てる見てる

壁の外で
みんな
見てるよ？

みんなクミンクで…！？

いろんな
眼差しを感じるなあ
グフフフ



ざわ ざわ

え？

何あの男は…

助けに来た？

いや…違う…？

ざわ ざわ



これは
夢だったんだ

以前から
ずっと私は



街の中で突然現れた
怪獣を颯爽と倒す
みんなのヒロインを

そのまま
街の中でレイプする…
そして—



知っての通り
私は
子どもの頃から

スーパーヒロインが
やられることで
異常に興奮する性癖



ヤッ!!

そんな
シチュエーションを
やりたいと
ずっと思っていたんだ

それを
民衆に
見せつける



すべて
お膳立てをして
もらったんだよ

この度
似たような趣味を持つ
半妖の協力者を
得たのでね

うん...

うわ...

うわ
うわ

うわ
うわ



ただ
私に犯されて
恥辱を受けることだけに
集中すればいい



おい!

何なんだ
あの男!

この壁
どうなってるんだ!?



ということでもう安心していい

妖魔がこれ以上襲ってくることもないし

民衆が傷つく心配もしなくていい



グフフフフ
ココをグリグリ
しちゃうと
潮を吹いちゃうね

.....
!!



潮を吹いちゃうと
もう

この悶えは
痛みで悶えてる
わけじゃなく

快感で
悶えてるって
分かってちゃうねえ



タマッ!! この人には...

やめてッ!

弱点が完全にバレてるから……

簡単にイカされるから……!

ほら
派手に潮吹きながら
イこうか

どいつのオモいも出来ない!

お
お

お
お



グフフフ

侍

侍

侍

派手に
潮吹いたね



ざわざわ



これで
誰の目から見ても
カグヤちゃんが
イキまくってるのが
バレちゃったね

もう
隠そうと
ガマンするのは
意味ないよ？

気持ちよくて
どうしようもないんだったら
声もガマンしなくても
いいんだよ？





さあ
みんなに

正義のヒロインが
スケベおじさんの
魔の手によって
陥落するところを

見せてあげようじや
ないか

こんなの...!



こんなの
卑怯すぎる...!

この男がただのセックスだけで
終わるなんて思ってたけど

まさか街の中でこんな変態プレイを
計画してたなんて…!





乳首クリクリだけで
イキまくって
潮をびゅっびゅっ
させてしまう

カグヤちゃんの
スケベなカラダを
見せつけてやるんだ

カラダが完全に
負けを認めてる……!!

カグ

カグ

カグ

カグ

カグ

カグ

カグ

カグ

みんなを守った
正義のヒロインが
悪いオジサンに
イタズラされて

乳首イキで
ガニ股潮吹き

これは
恥ずかしいねえ♡

カラダがこの男を受け入れてる……!!

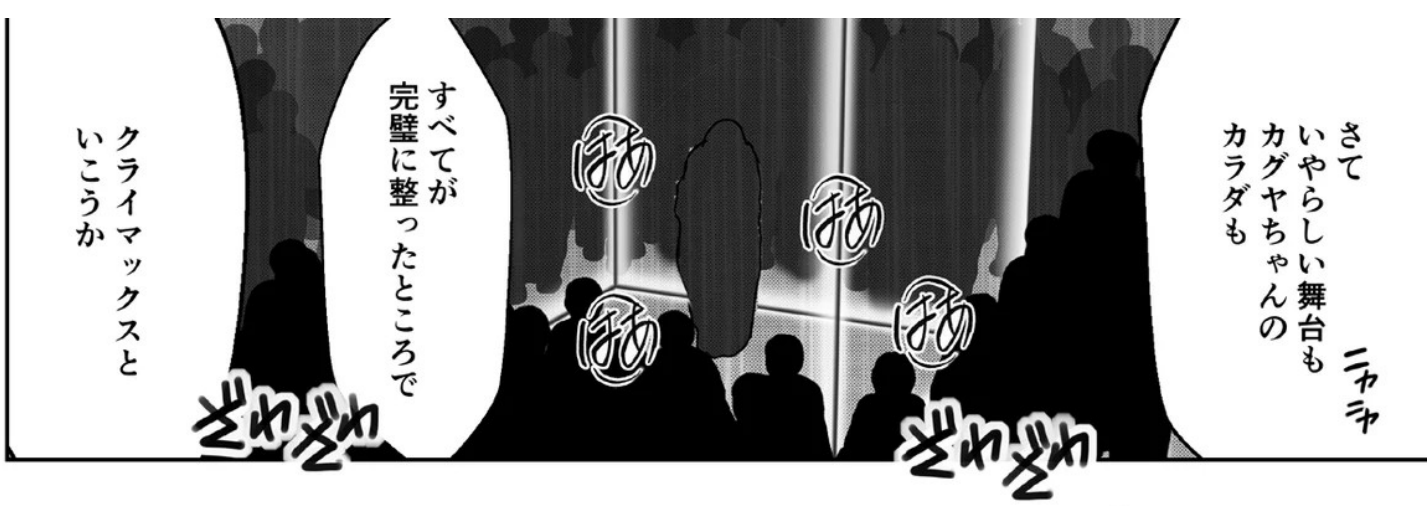
潮吹き

潮吹き

潮吹き

ズンズン

ズンズン



さて
いやらしい舞台も
カグヤちゃんの
カラダも
ニヤヤ

すべてが
完璧に整ったところで

クライマックスと
いこうか

ぞわぞわ

ぞわぞわ



さあ
どうして欲しい？

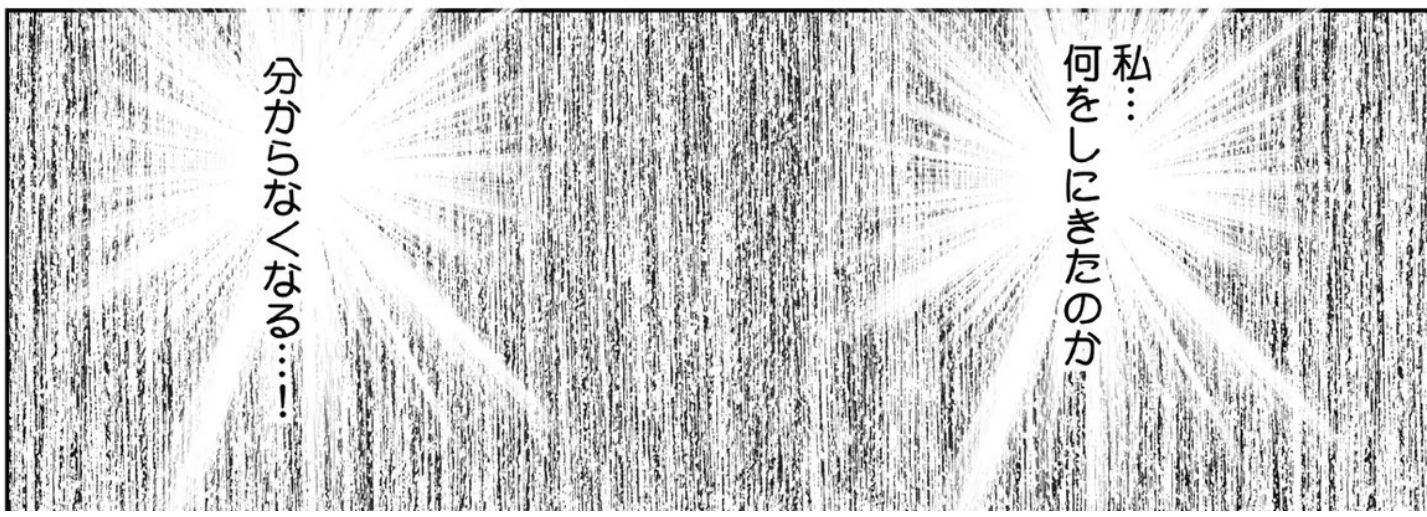
フフフ...

あゝあゝ...

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ



私...
何をしにきたのか

分からなくなる...!





今ここが
街の中で

大勢の人に
見られてることも

全部
忘れそじになるくらい……!



さっきまで
自分たちを助けてくれてた
ヒロインが

わけの分からない
オジサンに犯されて

歯痒かったり

何も出来ずに
無力感を感じたり

ただただ
可哀想に思ったり



それでも
目の前で行われる
卑猥な行為に

性的な興奮が
抑えられなかったり♥



えっ……!?

ガッ

観客たちに見せてやろう

よし 壁に寄って もっと間近で



ざわ ざわ

やっ……!

びん びん

ガッ

川口



ああダメ!

イク!



恥ずかしいのに!

乳首でイクツ!

ナカでイクツ!

イッてるー!

イワとこる
見られてるー！

見られてるー！





そろそろ

完全なる
敗北を
見せつけようか

スーパーヒロインの
誇りでもある
コスチュームを
剥ぎ取られて



すべてを
さらけ出して
犯されるんだ

ドキッ

バッ

ほら
チンポでグリグリされて
潮を吹き出しなさい

みんなの前で
ただの
オジサンチンポに――

清純で崇高な
是帯不可侵な
ヒロインマンコが

屈服するところを
披露するんだ



ああ…ダメ

こんなのダメなのよ！

カッ

気持ちよすぎて
全部吹き飛びそうになる…！！

カッ

カッ



み…見ないで…!!

まだまだ羞恥心が残っているようだね



イクのが止まらない!!



カグヤちゃんのマンコに完全敗北を与えてやろうか



結合部分がバッチリ見えちゃうポーズで

じゃあもっともっと恥ずかしいポーズで



イクッ!

イクイクッ!

イクッ!

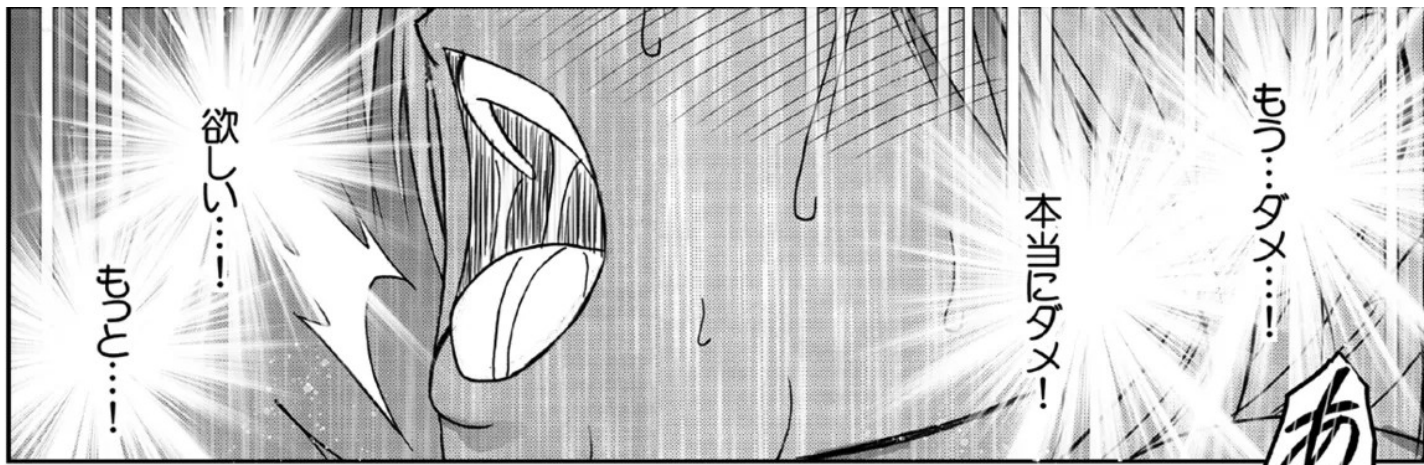
イクッ!

気持ち良くなることしか
考えられないッ!

…もじり…

グググ

グググ



もう…ダメ…!!

本当にダメ!

欲しい…!!

あ…!!



ガマンできない!!

ぐんぐんぐん

んんん

さあ
カグヤちゃん

精液を中に
出して欲しくて
私のところに
来たんだろう?

今私は
人生史上
最高に興奮して
いるからね

今ならとびきり
濃いのを
ぶちまけて
あげられるよ



中出しして
欲しかったら

この大勢の前で
宣言するんだ

カグヤちゃんが
私のモノであると
いうことを

わ…私は
虎道さまのモノですッ！



ナカに
出してください！

ああ……！ 来る……！

今まで以上の……！！

ああ
カグヤちゃん！
イイよ！

キミは完璧で
最低なヒロインだ！



アソコが…!!

ズンズンズン

求めて…!!

止まらない!!

大勢に見られて
恥ずかしいはずなのに

目線が集中するたびに
どんどん
気持ち良くなってる…!!

ズン

ズン

さあ
お待ちかねの
中出しだ

今の気分は
どうかかな?
言っただらん

あ…!!
ダメ…!!

ズンズンズン

ズンズンズン

あ…気持ちいいッ♡

気持ちよすぎッ…♡

イクッ♡

イクイクッ♡

ふるふる





グフフフ

何だかんだ
言いながらも

カグヤちゃんも
ノリノリじゃないか



カグヤちゃんも
好きなんだよね
こういうの

悲劇のヒロインになって
みんなの前で
恥ずかしい姿をさらすのが



ほら
もう一発



グフフフ

私たちは
最高のパートナーじゃ
ないか

これからも
定期的に
犯してあげるからね

愛しの
マイヒロイン
カグヤちゃん♪



ガッガッ

ガッガッ

ガッガッ

ガッガッ